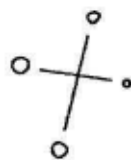


今月の話題

NO.52



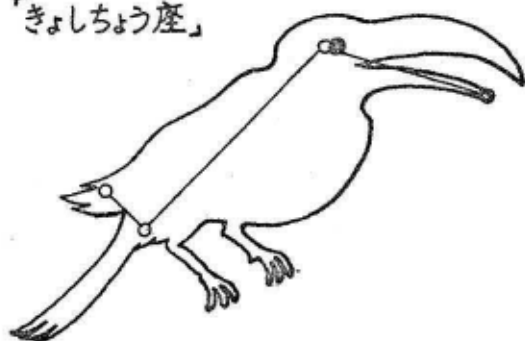
南の星座



「白鳥座」，「わし座」，「こと座」という名は、みなさんもよく知っておられるでしょう。では、「ふうちょう座」とか「きよしちょう座」はどうでしょうか。ご存知ない人が多いかも知れません。

これらは南半球の星座で日本から見えないため、なじみがありません。1492年、コロンブスがアメリカ大陸を発見して以来、船乗りたちは南半球へも行くようになりました。そうすると航海で、自分の位置を知るためにはやはり星座があると便利なので、南の国の動物などを星座の名前にしました。「きよしちょう」は、本当の名前は中南米の熱帯地方にすむ、オオハシというキツツキの仲間です。くちばしがとっても大きいので巨嘴^{キツツキ}鳥といわれています。また「ふうちょう」は、ニューギニアにすむ鳥で、姿が美しいので極楽^{キツツキ}鳥ともいわれています。昔は、この鳥の足をとってしまって空中でくらす鳥として売られていたところから、風鳥^{ふうちょう}と呼ばれています。ほか

「きよしちょう座」

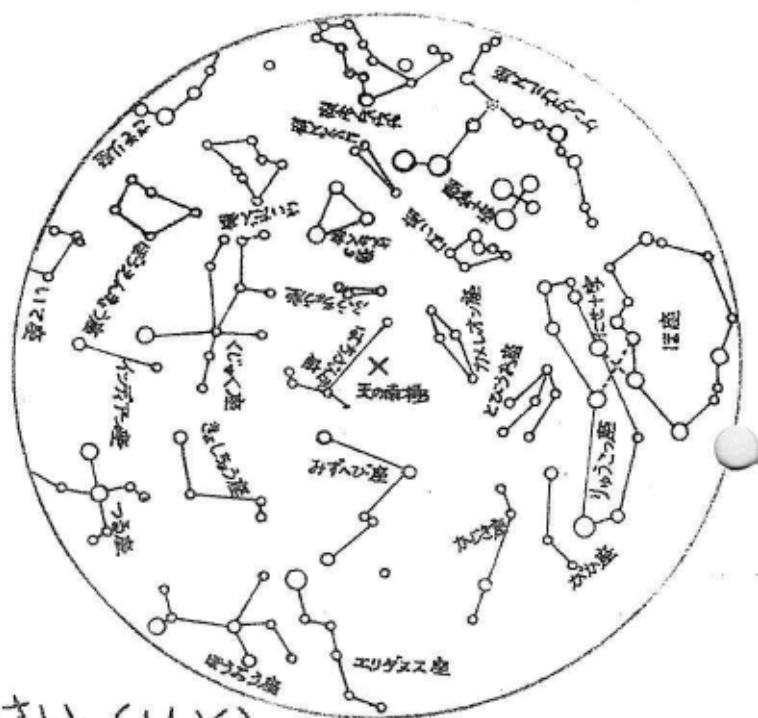


「ふうちょう座」



に、カメレオン座やクジク座などもあります。

また、「ぼうえんきょう座」，「コンパス座」，「けんびきょう座」など、科学や近代文明に大きな役割りを果たした器械も星座になっています。さて、南の星座の中で一番よく知られているのは「みなみじゅうじ座」。南十字星のことですね。この星の名前を聞くと何かロマンチックな感じで私たちに南の国を遠想させてくれます。この南十字星は、天の南極をさがすのに便利です。十字架の長い方を5倍ほど伸ばしたところが天の南極の位置です。天の南極といっても、天の北極の北極星のように、南極星とよばれる明るい星はありません。この南十字星、こじんまりしているので、近くにある「にせ十字」とみまがうことがあるかもしれません。南の国へ行かれた時は注意して見て下さい。(H.Y)



富山市科学文化センター

富山市西中野町3丁目1番19号 (〒930-11)

電話 富山(0764) 91-2123(代表)

昭和57年7月10日発行